

# 人口急減社会で 何が起きるのか

—メディア報道の在り方を考える—

2018年 6月28日(木) 13:30~17:00 (13:00受付開始)

プレスセンターホール (日本プレスセンタービル10階)

日本の人口は今後、急速に減少していく。2015年時点で1億2700万人の総人口は、100年も経たないうちに5千万人ほどに半減するとの推計もある。急減していく過程で労働力の不足が深刻となり、全国で空き家が急増、地方都市の空洞化も進む。鉄道やバスの減便、水道などインフラの老朽化も深刻な問題だ。AI（人工知能）やロボットの導入、外国人労働者の受け入れ拡大、高齢者や女性の活躍促進などで労働人口は補えるのか。コンパクトシティ化を進めることで都市機能の空洞化は防げるのか。利用者の利便性維持と企業経営のバランスをとった交通網やインフラの再構築は可能か—などを話し合う。

## プログラム

- 13:35~14:45 **第1部 基調講演**  
産経新聞社論説委員 **河合雅司氏**
- 14:45~15:00 休憩
- 15:00~17:00 **第2部 パネルディスカッション**
- 17:00 終了

## 基調講演

### 河合雅司

かわい まさし  
産経新聞社論説委員、  
高知大学客員教授  
「未来の年表」著者



1963年名古屋生まれ。中央大学卒。現在、大正大学客員教授、内閣府有識者会議委員、厚労省検討会委員、農水省第三者委員会委員を務める。内閣官房有識者会議委員、拓殖大学客員教授など歴任。2014年「ファイザー医学記事賞」大賞を受賞。主な著作にベストセラーとなった「未来の年表」(講談社)、「未来の呪縛」(中央公論新社)、「日本の少子化 百年の迷走」(新潮社)、「地方消滅と東京老化」(共著、ビジネス社)、「未来の年表2」(5月発刊)。

## パネリスト

### 上林千恵子

かみばやし ちえこ  
法政大学社会学部教授



1949年東京都生まれ。一橋大学社会学部卒、東京大学大学院社会学研究科博士課程修了。東京都立労働研究所非常勤研究員、江戸川大学社会学部専任講師などを経て現職。ケンブリッジ大学クレアホール客員研究員(2001-2002)。専門は産業社会学。外国人労働と移民政策、高齢者・女性雇用などをテーマに研究を進める。著書に「外国人労働者受け入れと日本社会」(東京大学出版会、2015年)など。

### 岩本晃一

いわた こういち  
経済産業研究所 上席研究員  
(特任) / 日本生産性本部 上  
席研究員



1958年香川県生まれ。京都大学卒、京都大学大学院(電子工学)修了後、通商産業省入省、2017年4月から現職。現在、第4次産業革命時代のICT、IoT、AI等デジタルビジネスに関する研究等を行っている。14年から一橋大学国際企業戦略研究科(ICS)のMBAプログラムにてゲスト講師。著書「インダストリー 4.0」(日刊工業新聞社)、「ビジネスパーソンのための人工知能」(共著、東洋経済新報社)、「中小企業がIoTをやってみた」(共著、日刊工業新聞社)。

## コーディネーター

### 松本真由美

まつもと まゆみ  
東京大学教養学部客員准教授



熊本県出身。上智大学外国語学部卒業。大学在学中にテレビ朝日の報道番組のキャスターになったのをきっかけに、報道番組のキャスター、リポーター、ディレクターとして幅広く取材活動を行う。2008年より東京大学における研究、教育活動に携わる。東京大学での活動の一方、講演、シンポジウム、執筆など幅広く活動する。

### 水無田気流

みなした きりう  
詩人・社会学者



1970年神奈川県生まれ。早稲田大学大学院社会科学部研究科博士後期課程単位取得満期退学。日本大学経済学部非常勤講師、立教大学社会学部兼任講師などを経て、2016年4月より国学院大経済学部教授。専門は文化社会学、家族社会学、ジェンダー論、社会言語学。詩集に中原中也賞受賞の「音速平和」、著書「無頼化した女たち」「シングルマザーの貧困」「「居場所」のない男、「時間」がない女」など。

### 諏訪雄三

すわ ゆうぞう  
共同通信社編集委員兼論説委員



1962年兵庫県生まれ、上智大学卒。84年、共同通信入社。札幌支社、大阪支社などを経て本社内政部(現地域報道部)で国土交通省、環境省、内閣府などをカバー。2011年から現職。担当は地方活性化、地域経営、環境、防災の各課題。主な著書に「アメリカは環境に優しいのか」「日本は環境に優しいのか」「公共事業を考える」「道路公団民営化を嗚う」「地方創生を考える」(いずれも新評論)「地球温暖化ハンドブック」(第一法規)がある。